

北九州市立枝光台中学校

えだみつだい

校長 戸次 健治

【校訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

令和6年度 修了式での話です。

今日は三学期の終わりの日です。そして、この一年間の修了の日でもあります。この3月7日に3年生が無事に卒業いたしました。皆、立派な姿で卒業証書を受け取り、全員で行う最後の合唱もしっかりと歌い上げることができ、感動的な式になりました。1・2年生の皆さんには、3年生を送る会をはじめ、式の前日の掃除や飾り付けの準備等で大変お世話になりました。皆さんのおかげで3年生は気持ちよく卒業することができました。ありがとうございました。

さて、先ほど1年生・2年生のそれぞれの代表に、皆さんのが「修了証」を渡しました。この修了証は、「1年生・2年生で学習する、全ての事を身に付けて次の学年に進むことが出来た。」という、意味を持っています。なんとなく、次の学年に進むのではなく、階段を一つ一つ上るように、次のステップに進んでください。後ほど、担任の先生から、しっかり受け取ってください。

一年間が終わるにあたって一つ話をいたします。1・2年生の学年の廊下にそれぞれこの一年間の学年目標が掲示してありました。1年生は、「当たり前のことを当たり前にする」が大目標で、1、元気よく挨拶・返事をする。2、学習に真剣に取り組むなど五つの重点目標が掲げられていました。2年生の大目標が「育てよう五つの心」で素直な心、感謝の心など五つの心が書かれていました。この二つの学年の目標を見て一つだけ共通の言葉がありました。それは「思いやり」という言葉です。1年生は「周りを思いやる」2年生は「思いやりの心」です。この「思いやりの心」という言葉は、大昔から大事だと言われ、例えば中国の偉人で孔子という人がいましたが、この孔子も人にとって最も大切な徳目は「思いやりの心」を持つことと話しています。孔子は思いやりの例として、「人が嫌がる仕事を第一にして、見返りを求めない」「嘘をつかない」「寛大な心で人を許す」「友達と助け合う」などを挙げています。ちなみに君たちにとったアンケートで「思いやりの心をもって接していますか」との問い合わせに95%の人が「思いやりの心をもって接している」と答えています。これから一つ上の学年に上がるにあたってさらに思いやりの心を実際の形としてあらわしてほしいと思います。



令和7年度の始業式は4月8日火曜日です。15日ほどの春休みがあります。この15日間をどう過ごすかも次の学年のスタートには重要です。宿題を全てやるのはもちろんですが、家庭学習を計画的に進めることと、家庭でのお手伝いをぜひお願いします。少しがんばったらできそうなことをコツコツ続けること、これも思いやりの心の実践につながると思います。充実した春休みを過ごしてまた、元気な姿を新学期に見せてください。

(写真は、フキノトウです。校地内の斜面で自生していました。)